

# 景観シンポジウムの開催趣旨

久留米市は、耳納連山、筑後川、筑後平野の豊かな自然環境に育まれた生活や文化によって生み出された景観資源が重なり合って形成されてきました。景観によるまちづくりは、地域の魅力や価値を高めますが、普段、あたりまえのように思っている景観は、社会経済の変化等により失われることもあります。そこで、みんなの景観に対する意識を高め、美しい景観を次代へつなげ、本市の景観を保全・創出するために景観シンポジウムを開催します。

## 基調講演／「海外に見る景観まちづくり～海外の事例紹介～」

はぎしま さとし  
**萩島 哲** 九州大学名誉教授、工学博士

1942年 福岡県生まれ。九州大学大学院博士課程終了。元九州大学教授。専門は都市計画、都市設計、景観デザイン。久留米市都市計画審議会会長、久留米市景観審議会会長などを務める。日本建築学会賞、日本建築学会霞ヶ関ビル記念賞、日本都市計画学会石川賞、日本都市計画学会国際交流賞を受賞。著書に、「シリーズ建築工学7 都市計画」(朝倉書店)、「風景画と都市景観―水、緑、道、まちなみ」(理工図書)、「都市風景画を読む―19世紀ヨーロッパ印象派の都市景観」(九州大学出版)／「バロック期の都市風景画を読む―ベロツトが描いたドレスデン、ピルナ、ケーニヒシュタインの景観」(九州大学出版)／「カナレットの景観デザイナー―新しいヴェネツィア発見の旅」(技報堂出版)他、がある。

## パネルディスカッション／「景観ではじめるまちづくり ～見つけようよかところ、つなごう未来へ～」

コーディネーター  
おおもり ようこ  
**大森 洋子** 久留米工業大学建築・設備工学科教授、博士(芸術工学)

1958年 福岡県生まれ。九州芸術工科大学大学院博士課程前期課程修了。研究テーマは、歴史的環境保全、ツーリズム。大森設計室で建築設計に従事後、有明高専助手、九州芸術工科大学非常勤講師等を経て2003年から現職。NPO都市・建築遺産保存支援機構副理事長。現在、久留米市建築審査会会長、久留米市都市計画審議会委員、久留米市景観審議会委員などを務める。主な著書に「シリーズ建築工学7 都市計画」(朝倉書店)、「福岡の町並み」(海鳥社)、「まちづくり教科書第2巻 町並み保全型のまちづくり」(丸善)がある。

## 景観シンポジウム参加申込書

FAX 0942-30-9714

申込年月日 平成24年 月 日

フリガナ お名前	電話番号
-------------	------

〒 ご住所
----------

○複数で申込みされる場合、代表者以外の方はお名前のみを記入して下さい。

お名前	お名前	お名前

なお、ご記入いただいた個人情報は、当シンポジウムの申込みのために使用し、その他の目的に利用したり第三者への提供はいたしません。